

# Zoom 開催

## 比較思想学会 第 48 回 大会プログラム

2021 年 6 月 26 日 (土)

### ■6 月 26 日

個人研究発表 (1 部会) ・ 個人研究発表 (2 部会)

総会

シンポジウム

個人研究発表 9:30～ 12:25 (発表 25 分 質疑 10 分 計 35 分)

第 1 部会 9:30～11:50

■司会 森上優子

1. 『仏教の形而上学』における世親の「存在のニヒリズム」  
——北山淳友による『世界観の心理学』の受容  
(嶋田毅寛・大正大学総合佛教研究所研究員)
  2. 近角常観の哲学批判と大乘非仏説の調停——井上円了と比較して——  
(石井慶太・東北大学大学院文学研究科)
- 司会 渡辺明照
3. 三宅剛一の人間存在論とフィヒテの道德衝動論  
(玉田龍太郎・滝川第二中学校・高等学校教諭)
  4. ショーペンハウアーの意志とアーラヤ識——現象世界の背後にある存在基盤——  
(近藤伸介・佛教大学総合研究所特別研究員)

第 2 部会 9:30～12:25

■司会 松田康男

1. 日本の仏教と宗教多元主義——救済における論理構造の比較  
(南部千代里・大正大学総合佛教研究所研究員)
2. 花と根——泉鏡花とシモーヌ・ヴェイユ  
(今村純子・立教大学兼任講師)

■司会 平山洋

3. 創造としての純粹経験——ジェイムズとの比較に見る西田における「現在」の唯一性——  
(新井潤・立正大学大学院文学研究科)
4. 西田の新資料「倫理学講義ノート」における至誠とリップス倫理学  
(中嶋優太・石川県西田幾多郎記念哲学館専門員)
5. 西田哲学の二つの継承——京都学派と智山学派——  
(坂本慎一・PHP研究所・研究コーディネーター)

総会 13:30 ~ 14:00

シンポジウム 14:30 ~ 18:00

テーマ：「運命と偶然」

司会・趣旨説明

頼住光子（東京大学 教授）

登壇者（パネル発表順）

納富信留（東京大学 教授）

「ギリシア哲学が直面した運命と偶然

——ソフォクレス『オイディプス王』とアリストテレス『詩学』を中心に——」

古田徹也（東京大学 准教授）

「偶然とアイロニー——英米圏の現代哲学の一断面をめぐって——」

中島隆博（東京大学 教授）

「根源的な偶然性に触れる——日本と中国の比較を通じて」

ラジ・シュタイネック（チューリッヒ大学 教授）

「運命と偶然の彼方？～道元の「有時」の思想と因果関係の諸相」

コメンテーター

板東洋介（皇學館大学 准教授）

蓑輪顕量（東京大学 教授）

■ 比較思想学会事務局

〒170-8470 東京都豊島区西巣鴨3-20-1 大正大学文学部西洋哲学研究室内